

請 求 書（部分払金）

契約者が所長の場合は愛知県〇〇所長

愛 知 県 知 事 殿

令和8年3月25日

「YYYY/MM/DD」形式で入力する。
入力例: 2026/03/25
表示は「令和8年3月25日」となる。

請負者 住 所 〇〇〇

(所在地)

氏 名 〇〇〇

〔名称及び
代表者氏名〕 〇〇〇
〇〇〇

下記のとおり請求します。

¥ 277, 336, 000

ただし、次の工事の部分払金として

工 事 名 〇〇〇工事

路 線 等 の 名 称 〇〇〇

工 事 場 所 〇〇〇

契 約 締 結 年 月 日 令和6年8月10日

振込希望金融機関名 〇〇 銀行 〇〇支 店

預 金 の 種 別 当座

口 座 番 号 〇〇〇〇〇〇

「YYYY/MM/DD」形式で入力する。
入力例: 2024/08/10
表示は「令和6年8月10日」となる。

請求内訳書

区 分		金 額	備 考
請負代金額	A	¥ 1,609,200,000	
出来形パーセント	B	47.96 %	
出来形の10分の9に相当する金額	C	¥ 694,595,088	
前年度までの受領済前払金、中間前払金及び部分払金の額	D	¥ 190,000,000	
当該年度の前払金及び中間前払金	E	¥ 221,864,000	
当該年度末までの出来高予定額	F	¥ 765,780,000	
前年度末までの出来高予定額	G	¥ 211,120,000	
当該年度の前払金及び中間前払金のうちの出来高予定額	H	¥ 221,864,000	$H=E/(F-G)*(A*B-G)$ ただし、 $H\leq E$
当該年度の支払済部分払金	I	¥ 0	
請求し得る金額	J	¥ 282,731,088	$J=C-D-H-I$
今回請求する金額	K	¥ 277,336,000	次回請求 ¥5,395,088

注 1 (C) の円未満の端数は、切り捨てること。
2 (H) の円未満の端数は、切り上げること。

「特に定めた契約条件」に記載の支払限度額等をふまえて今回請求する金額を入力する。

適格請求書必要事項

登録番号： T.....

消費税対象及び消費税額等

既済部分検査を行った日の年度	消費税及び地方消費税の税込対象額(L=H+K)	消費税及び地方消費税(税率10%)の額(M(端数切捨)=L×10÷110)
令和6年度	¥190,000,000	¥17,272,727
令和7年度	¥499,200,000	¥45,381,818
計	¥689,200,000	¥62,654,545

注 1 「適格請求書必要事項」以下の内容については、特別会計及び地方公営企業会計の場合に記入すること（一般会計の場合は空欄又は削除可。）。

2 Lは、H及びKを既済部分検査を行った日の年度ごとに足した額を記入すること。

3 MはLの額に、110分の10の割合を乗じて得た額（円未満の端数を切り捨て）を記入すること。

この記入例は、以下を仮定して作成しています。

契約締結日 令和6年8月10日
契約金額 1,609,200,000円

年割額

	R6	R7	R8	R9
支払限度額累計	190,000,000	689,200,000	1,447,200,000	1,609,200,000
出来高予定額累計	211,120,000	765,780,000	1,608,000,000	1,609,200,000

受領済額

令和6年8月24日	84,448,000	R6年度分前金払	
令和7年3月30日	105,552,000	第1回部分払	
令和7年4月14日	221,864,000	R7年度分前金払	
令和8年3月25日	277,336,000	第2回部分払	←今回請求
R6末時点累計	689,200,000		